

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、 令和7年度における取組の評価・分析を 踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
25207守山市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	ボランティア数や地域と連携協力して取り組む事例の増加の一方で、めざす姿や育てたい資質能力の明確化やそれらを地域と共有し活動の工夫改善を図っていくことに課題がみられる。	本市がJRC(青少年赤十字)発祥の地であることを踏まえ、「地域学校協働活動の充実とおした子どもの主体的・協働的・探究的な学びを推進し、子どものJRC実践力の育成」をめざすため、めざす子どもの姿や育てたい能力態度を明確にし、各校の実践の工夫改善を図る。	・各校の取組の焦点化を図り、めざす子どもの姿や育てたい能力・態度を明確にして、そのための具体的な取組の構築を図る。	・各校で重点的に取り組む学習單元を定め、令和9年度の市内とよりまともに向けて検討・実施し、取組の精査を進める。	「地域を学びの場とした『気づき・考え・実行する子』の育成」の具現化に向け工夫改善に取り組む学校数	0	校	13		
25207守山市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の教員の35%超が、月45時間以上の時間外勤務を行っている。その割合は、減少傾向にはあるが、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・市内7公民館の職員が地域と学校をつなぐ橋渡し役となり、全小中学校13校で地域との協働体制の構築を進める。 ・各校区(本部)が取組の工夫を図れるよう、担当者会等の機会を通じて市内の様々な事例の共有を進める。	・地域、公民館、学校が事業の目的を話し合い、それぞれの役割が明確になるようにする。 ・地域と学校をつなぐコーディネーター役を担う公民館職員と学校の窓口となる地域連携教職員などから成る担当者会の工夫や充実を図る。	・学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、結果として、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	35	%	30		